

SGHアジア探究文系活動報告 9

10月13日(木)5限、アジア探究文系社会系統では、関西学院大学から助言者の方をお招きして中間発表に向けて論点を整理していくためのワークショップを行いました。

助言者は以下のお二方です。

関西学院大学大学院文学研究科

博士課程後期課程 総合心理学専攻 心理学領域 心理学
大森 駿哉 さん

博士課程前期課程 総合心理学専攻 心理学領域
白井 理沙子 さん

今回は、それぞれのグループで現在探究に取り組んでいる内容を、そのテーマを選定した理由、事業活動を展開する候補となる地域、その地域を候補に挙げた理由、自分たちの事業がめざしている方向性などの項目についてまとめたものを作成し、それをもとに生徒の側から説明した後に助言をいただくという流れでワークショップを行いました。

今回のワークショップでは、発表に向けて論理の組み立てなどに齟齬や不十分な点がないかどうかを重点的に検討し、助言をいただくことに主眼を置きました。各グループともに、これまで進めてきた探究活動の内容については一定の評価をいただきましたが、事業を展開する上での不安な点や、自分たちが考える事業をどのようにして独自性のあるものにしていくのか、などの点についての指摘もありました。

次回は10月27日(木)の5限に再度ワークショップを行います。今回いただいた助言を活用して、次回までの期間に各グループの発表内容をどれだけレベルの高いものにしていくことができるかが課題となります。

最後になりましたが、ご多用にもかかわらずご来校くださいました助言者のお二方にあらためて感謝申し上げます。

